

報道関係各位

No. 24-0177A
2025年1月23日
ヒューマンアカデミー株式会社

日本企業のリスキング支援における助成金活用と課題 68%の企業が助成金を活用してリスキングを実施 人材開発支援助成金の利用率は89%、課題は申請の煩雑さ

教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：今堀健治、以下「当社」）は、政府が5年間で1兆円の投資を行うなど国をあげてリスキングを支援するなか、日本企業のリスキングの状況や取組について人事・研修担当者300名を対象に調査を実施しました。

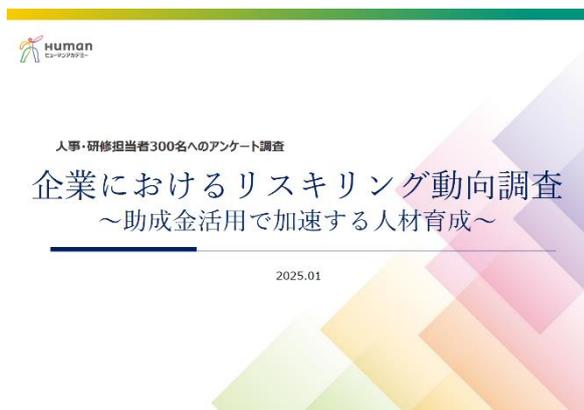
本調査により、リスキングに取り組む企業のうち助成金を活用している企業は68%にのぼり、そのうち89%が厚生労働省の「人材開発支援助成金」を利用していることが分かりました。

リスキングを進める多くの企業で助成金の活用が進んでいる一方、申請時の煩雑さに課題もある結果となっています。

【本件のポイント】

- ・68%の企業が助成金を活用してリスキングを実施
- ・助成金を活用する企業の89%が厚生労働省の「人材開発支援助成金」を利用
- ・85%が助成金申請の負担を感じており、提出書類の煩雑さが主な課題

<https://biz.athuman.com/materials/detail/0003.php>



【背景】

デジタル化の加速で既存の職務に必要なスキルの価値に変化が生じており、企業の競争力維持にはリスキングを通じた人材育成が重要な課題となっています。この状況を受け、政府や自治体はリスキングを支援する多様な助成金制度を整備しています。

当社では、企業のリスキング推進や助成金活用の実態を明らかにすることにより、お客様の状況に最適な人材育成戦略の提案と効果的な助成金活用をサポートし、日本企業における人材のスキル革新と企業価値の向上に貢献します。

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
E-mail : ha_info@athuman.com

【調査結果の概要】

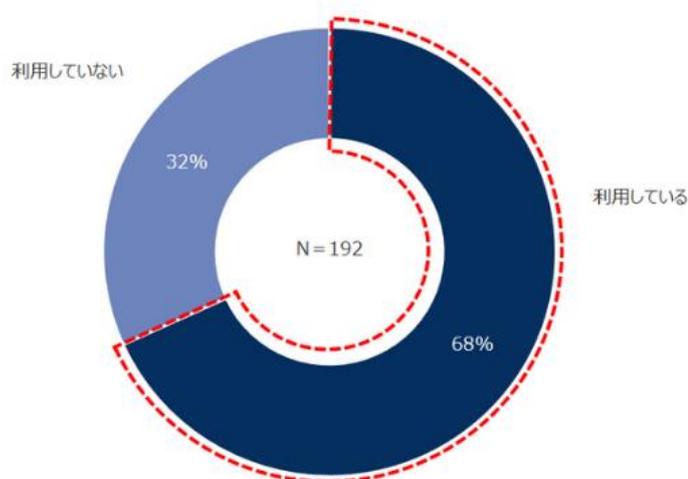
リスクリングに取り組む際の助成金制度の活用状況について調査したところ、68%の企業が助成金を活用してリスクリングに取り組んでおり、そのうち89%が「人材開発支援助成金」を利用していることが分かりました。

一方で、85%の企業が申請時の負担を感じており、提出書類の煩雑さや支給要件の厳しさが主な課題として挙げられます。こうした背景から、多くの企業が研修会社や行政機関、社会保険労務士などの外部支援を活用して申請手続きを行っている実態が明らかになりました。

【調査結果】

リスクリングにおける助成金 68%の企業が活用

Q. リスクリングに関して、あなたの会社での助成金利用状況は？



©Human Academy

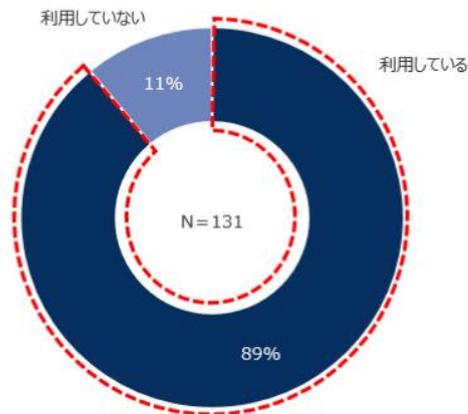
図表 1

リスクリングに取り組む際の助成金の利用状況について調査したところ、「利用している」と回答した企業が68%、「利用していない」と回答した企業が32%となりました（図表1）。

リスクリングに取り組む企業の約7割の企業が助成金を活用しており、国が整備する支援制度が有効に活用されていることがうかがえます。

助成金利用企業のうち 89%が人材開発支援助成金を利用

Q. 厚生労働省の「人材開発支援助成金」を利用していますか？



©Human Academy

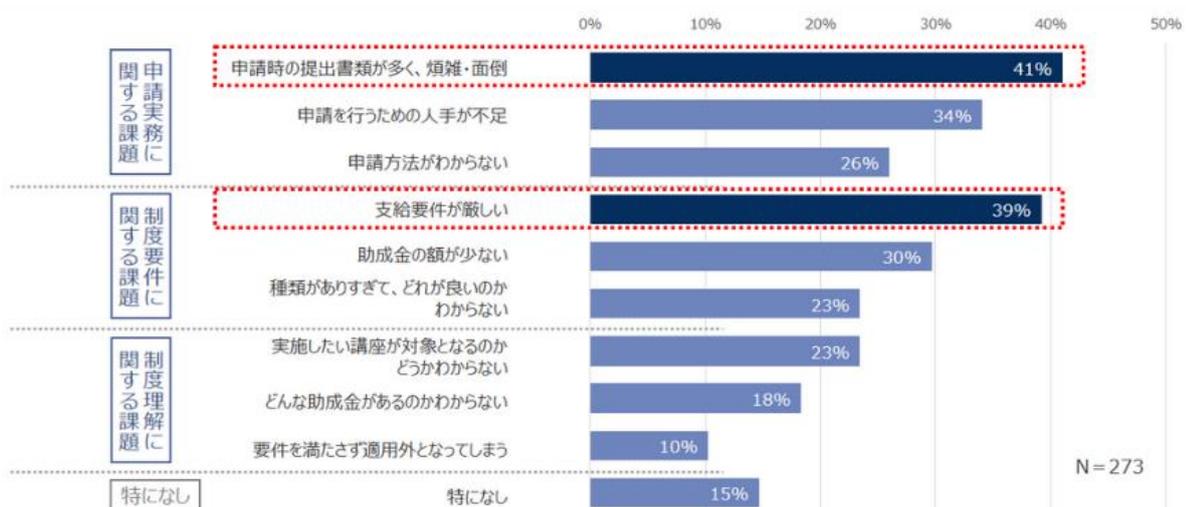
図表 2

助成金を活用している企業のうち、厚生労働省「人材開発支援助成金」を利用していると回答した企業は 89%です。

この結果から、約 9 割の企業がリスキリング支援において本制度を活用しており、政府による支援策が企業に広く浸透していることが明らかになりました。

85%の企業が、助成金の申請に負担を感じている 提出書類の煩雑さが最大の障壁

Q. リスキリングに関して、助成金を活用する上で困っていることは？（当てはまるものすべてを回答）



©Human Academy

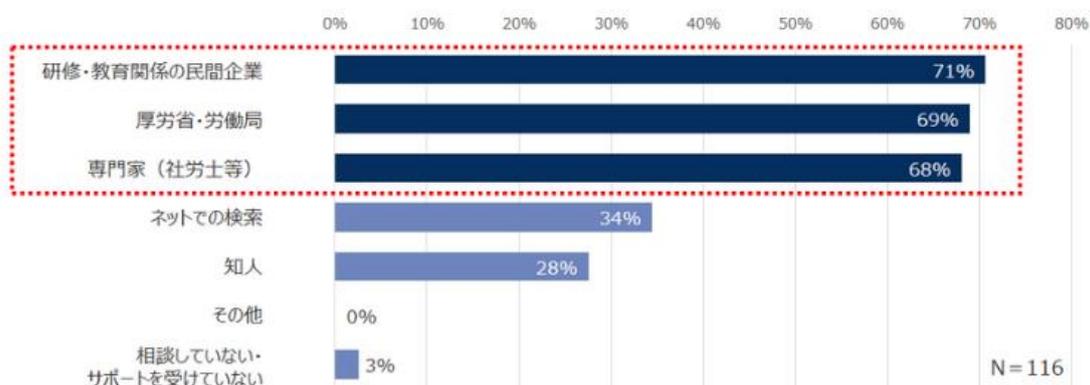
図表 3

■取材・本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
E-mail : ha_info@athuman.com

助成金活用における課題として、「申請時の提出書類が多く、煩雑・面倒」が 41%で最多となり、続いて「支給要件が厳しい」が 39%、「申請を行うための人手が不足」が 34%でした。また、「特になし」と回答した企業は 15%であることから 85%の企業が助成金を活用するうえで何らかの困難を抱えていることがわかります。特に、申請書類の準備の手間や支給要件の厳しさが助成金活用の大きな課題です。一方で、「要件を満たさず適用外となってしまう」と回答した企業は 10%に留まっていることから、申請の手間はかかるものの、制度そのものは多くの企業で利用可能な内容と推察されます。

研修会社、厚生労働省、社会保険労務士等専門家から申請サポートを受ける企業はそれぞれ約 70%

Q. 助成金申請にあたり、相談したりサポートを受けたりした相手や機関は？（当てはまるものすべてを回答）



©Human Academy

図表 4

助成金申請時の相談・サポート先として、「研修・教育関係の民間企業」が 71%で最多となり、「厚生労働省・労働局」（69%）、「専門家（社会保険労務士等）」（68%）が続きました。また、「相談していない・サポートを受けていない」と回答した企業は 3%という結果でした（図表 4）。

上位 3 機関がいずれも約 70%の利用率を示していることから、企業は複数の支援先に相談している実態が明らかです。また、85%の企業が申請に課題を抱えていることから（図表 3）、外部支援が申請手続きに不可欠となっていることがわかります。

【ヒューマンアカデミー調査 企業におけるリスキリング動向調査～助成金活用で加速する人材育成～】

調査概要

調査方法：Web アンケート 調査期間：2024 年 12 月 16 日～12 月 20 日の計 5 日間

対象地域：全国 調査対象者：民間企業に勤める人事・研修担当者

回収件数：300 件 回答者が勤務する会社の従業員数：1,000 名未満 37%、1000 名以上 63%

ページ数：全 14 ページ

資料ダウンロードはこちら

<https://biz.athuman.com/materials/detail/0003.php>

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
E-mail : ha_info@athuman.com

■ヒューマンアカデミーの企業研修について <https://biz.athuman.com/>

ヒューマンアカデミーでは、最新のビジネス動向とテクノロジーに焦点を当て、従業員の能力向上と企業の競争力強化を支援する社員研修プログラムを提供しています。

■ヒューマンアカデミーについて <https://manabu.athuman.com/>

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら800以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおけるSTEAM教育やリスキリング、学び直しの支援を行っています。



さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGAスクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELingサポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、最高水準の教育サービスを提供していきます。

■ヒューマングループについて

ヒューマングループは、教育事業を中核に、人材、介護、保育、美容、スポーツ、ITと多岐にわたる事業を展開しています。1985年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を経営理念に掲げ、各事業の強みを生かし、連携しながらシナジーを最大限に発揮する独自のビジネスモデルにより、国内330拠点以上、海外5カ国6法人のネットワークでお客様に質の高いサービスを提供しています。



日本リスキリングコンソーシアム
学び続けよう、未来のために。

ヒューマンホールディングスは、日本リスキリングコンソーシアムの後援パートナーです。

●ヒューマンホールディングス WEB サイト：<https://www.athuman.com/>

会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

- 代表者：代表取締役 今堀 健治 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1階
- 資本金：1,000万円 ●URL：<https://manabu.athuman.com/>

■本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 担当 原 千恵
E-mail：ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ ■ ヒューマングループ 広報担当 若林・平
E-mail：kouhou@athuman.com